

# メコンの姿 ~ カム族の暮らし



ラオスに暮らす山の民、カム族の人びとは「森は私たちの家」と語る。カムの人びとの生活は、焼畑農業による米や野菜の栽培、森や川での狩猟採集に支えられている。ウドムサイ県チョムレンノイ村のトープばあさんは、一緒に暮らす孫たちのために、森で摘んできた野草やキノコでおいしいスープを作る。村一番の語り部でもあるトープばあさんの昔話には、森や川が育むさまざまな植物や動物が登場する（24ページ）。

## 目次

■特集：人々の生物多様性 —メコン流域の自然資源利用—	
メコン河流域から見る生態系サービス利用の重要性	3
東北タイ：ノンハン・クムパワピー沼 コンチームン事業における水管理の失敗	4
ビルマ：世界最大のトラ保護地区の実態～ビルマ・カチン州フーコン谷で何が起きているか	10
ベトナム：地域のたねと自然を守り、家族を大事にしながら暮らすムオンの人々	14
ラオスにおける「第3の植林の波」植林事業による地域住民への影響	18
■活動紹介 ラオス森林プロジェクト	22
■人々の物語 (3) カムの昔話	24
■レポート	
ラオスからベトナムへの木材供給	26
東南アジアの食料問題：メコン河漁業と地域的食料安全保障	30
■風景を切り取る③ —変わる森の風景—	39